



東大寺の屋根をふくために焼かれた瓦
(鎌倉時代初期、伊良湖東大寺瓦窯跡)

海から広がる 渥美半島展

私たちが思うよりもずっと多く渥美半島の人たちは海と生きてきたのです

2022 **10.8** [土] — **11.27** [日]

休館日

毎週月曜日

10月10日(月・祝)は開館
10月11日(火)は華山大祭のため無料開放

開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料

一般 400円(320円) 小中学生 200円(160円)

()は20人以上の団体料金

東三河在住・在学の小中学生は、ほの国こどもパスポートの提示で観覧料無料



縄文人のアクセサリーだった
オオツタノハ、ベンケイガイなどの貝輪
(縄文時代晩期、伊川津貝塚ほか)



井上親画 田原藩が建造した西洋式帆船 順応丸図



東観音寺古境内図 (16～17世紀、東観音寺蔵)



渡辺華山が田原で描いた
太平洋でとれた変わった魚
「異魚図」部分(天保11(1840)年/個人蔵)



地引網のようす (昭和時代初期、鈴木政一氏撮影/原版・個人蔵)

田原市博物館

同時開催 文人画家が描く水 (特別展示室)

主催/田原市教育委員会、田原市博物館、公益財団法人華山会

特別協力/船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

入場割引券
団体割引料金を
お求めいただけます



田原市白谷町にあった鍾乳洞(昭和時代初期)

工場や港のある
臨海地域は
もとは海だったの？



トヨタ自動車田原工場ヤード(現代、トヨタ自動車提供)



貝などがびっしりついたたこつぼ
(昭和時代、六連町で使用)



日本の各地に運ばれた渥美半島産のやきもの
(鎌倉時代初期、坪沢10号窯)

海から広がる 渥美半島展

田原市博物館 企画展

私たちが暮らす渥美半島は細長く海に突き出していることから、半島からどこを向いても海。地形や気候も、海の影響を強く受けています。

この半島に生きた私たちの祖先は、食べ物や道具、アクセサリなどほしいものがあれば海から手に入れ、さらにほしいものがあれば船を出して周りの地域と取り引きをしました。

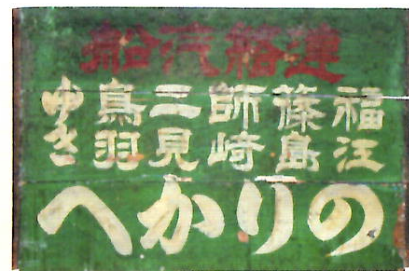
現代に生きる私たちも海を活かし、多くの恵みを受けています。小高い場所から海を眺めれば、漁船、タンカー、コンテナ船などの多くの船が今日も行き交っています。

この展覧会では渥美半島の人たちと海の関わりを歴史を「海から広がる」をテーマに、過去から現在まで見ていきます。渥美半島と海の物語をお楽しみください。

渥美半島から
伊勢神宮へ漁船で
乗りつけていたの？



伊勢神宮へ向かう漁船(昭和時代前期、伊勢・神社港みなとまち館蔵)



福江・鳥羽等方面行き汽船看板
(大正時代、蒲郡市博物館蔵)



伊勢神宮近くの宿屋から贈られた大漁旗

海から離れた
田原のまちなかに
港があったの？



旧田原港(昭和時代初期、鈴木政一氏撮影/原版・個人蔵)

収蔵について記載のない資料は当館所蔵です。

田原市博物館

〒441-3421
愛知県田原市田原町巴江11番地1
Tel 0531-22-1720



講座名	日時	定員
海の学び ガラリートーク	10/8(土) 11:00~ 11/3(木・祝) 13:30~	各回20名 観覧料無料
海の学び体験プログラム 「おサカナまるごとウォッチング」 ニボシの解剖から海の環境について学ぼう 講師 和木美玲(船の科学館学芸員)	10/15日(土) 10:00~	10組20名 (小学生未満は保護者同伴) 無料
海から知る! 渥美半島親子向けバスツアー 海をテーマに、ジオガイドと半島を巡る 実施・申込先: 豊橋鉄道株豊川旅行センター	11/6日(日) 9:30~	30名程度 大人 1,000円 小中学生 500円
イベント	日時	
海の恵みが当たる 海のスタンプラリー 市内の海に關係するスポットをまわって抽選に応募	10/8(土)~11/27(日)	
シェルマよしこ 海から広がる! 縄文まつり	10/10(月・祝) 10:00~15:00	
田原中学校ボランティアサークル たはランディア 「田原水族館」成果発表&海の生き物タッチ	11/19(土) 10:00~12:00	

会期中【10/8(土)~11/27(日)】館内にて配布&販売します

キッズ向け見学ワークシート配布 渥美半島「海の恵み」製品販売

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示やイベントを中止する場合があります。最新の情報は当館のホームページ等にてご確認ください。

入場割引券
1枚につき
1名まで有効